

(公表用)

**行政評価（最終評価）結果一覧表
（平成 21 年度事務事業分）**

平成 23 年 1 月

横瀬町まち経営課

平成21年度実施事業評価シート

事業コード: 121040-01

人権行政推進事業				評価	主要	プロ	新・継	担当課所
				○	○		継続	総務課
基本構想	6 協働・交流	主な施策	1 人権の尊重・平和意識の啓発					
その他の関連する施策								
何のために(目的・課題)	人権が尊重され、誰もが差別のない明るい生活を営める社会を実現するため。							
誰・何を(対象)	全住民 対象数(受益者または団体数) 9,500 (単位:人)							
どんなことを・どのように(内容)	関係機関と連携し、人権教育に関する啓発物の配付や研修会・講演会を開催することで人権尊重意識の高揚を図る。 (H23)秩父人権フェスティバル【特財:(22)法務局(23)秩父人権フェスティバル】							

【1 事業費等】 (単位:千円)

区分	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
事業費	1,441	409	575	1,175	1,775	575
財源内訳	国県支出金	1,000			600	1,000
	地方債					
	受益者負担					
	その他					200
	一般財源	441	409	575	575	575

【2 目標指標】

1	指標	人権教育研修会・講演会の参加者数				
	目標値	(平成26年度) 860 単位 人				
	実績値	780	617	573		
	達成度	90.7%	71.7%	66.6%		
2	指標	審議会等の女性委員割合				
	目標値	(平成26年度) 20 単位 %				
	実績値	14	9	14		
	達成度	70.0%	45.0%	70.0%		
3	指標					
	目標値	(平成26年度) 単位				
	実績値					
	達成度					
4	指標					
	目標値	(平成26年度) 単位				
	実績値					
	達成度					
5	指標					
	目標値	(平成26年度) 単位				
	実績値					
	達成度					

【3 事業実績】

21年度に実施した内容	<p>●実施内容 人権が尊重され、誰もが差別のない明るい生活を営める社会とするため、下記の事業を実施した。</p> <p>①各種人権問題研修会参加 運動団体が開催する研修会等に年間と通して総数20回参加</p> <p>②人権教育啓発用品の購入 社会科歴史学習補助教材 170冊</p> <p>③人権問題研修会の開催 開催日：平成22年1月29日 対象者：町役場職員、町内企業、町民 参加者：93名 テーマ：現代社会の人権問題 講師：埼玉県人権推進課講師</p> <p>④秩父郡市同和対策推進協議会、人権教育・啓発推進連絡会議に参加 負担金：秩父郡市同和対策推進協議会 30,000円 人権教育・啓発推進連絡会議 40,000円</p>
-------------	---

平成21年度実施事業評価シート

【4 担当者評価】

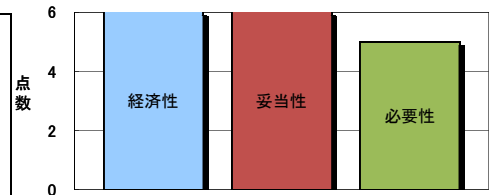
評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点:適切	6/6点 各種運動団体の研修会への参加費等が高額ではあるが、効果的に事業を展開する上においては必要最小限である。
	効率的な手段・方法であるか	2点:適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点:適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点:適切	6/6点 総合振興計画に基づいて長期的、継続的に事業を進める必要がある。
	長期的な効果が期待できるか	2点:適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点:適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	1点:概ね適切	5/6点 差別のない明るい社会を実現するため住民の意識調査を実施するなどしてより効果的な事業を継続的に取り組む必要がある。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点:適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点:適切	
総合点数		17/18点	

【5 総合評価】

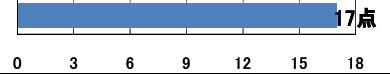
評価者: 課長 笠原 勲

総合評価	人権問題の解決を図る上で重要な事業であり、引き続き人権意識の向上を図っていく必要がある。
今後の方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> その他(現状維持)

評価のグラフ



総合点数



【6 最終評価】

評価者: 行政評価委員会

最終評価	事業の効果や住民ニーズを常に意識しながら実施すること。
今後の方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> その他(現状維持)

平成21年度実施事業評価シート

事業コード: 121140-01

きずなねっと制度活用事業				評価	主要	プロ	新・継	担当課所
				○	○	絆	継続	まち経営課
基本構想	6 協働・交流	主な施策	2 町民交流の推進					
その他の関連する施策								
何のために(目的・課題)	地域づくり活動を促進し、町民相互の絆を深め、町民と町の協働によるまちづくりを推進するため。							
誰・何を(対象)	全住民 対象数(受益者または団体数) (単位:)							
どんなことを・どのように(内容)	きずなねっと登録制度に基づき、地域づくり活動の情報提供を行い、活動団体への加入促進や団体間等の情報交換等を行う。メール配信月1回程度行っている。(23年度)活動団体一覧表を每户配布する。3,500世帯×30円							

【1 事業費等】 (単位:千円)

区分	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
事業費					105	
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	受益者負担					
	その他					
	一般財源					105

【2 目標指標】

指標	きずなねっと登録団体数				単位	団体
1	目標値	(平成26年度)		78		
	実績値	-	21	42		
	達成度		26.9%	53.9%		
	指標					
2	目標値	(平成26年度)			単位	
	実績値					
	達成度					
	指標					
3	目標値	(平成26年度)			単位	
	実績値					
	達成度					
	指標					
4	目標値	(平成26年度)			単位	
	実績値					
	達成度					
	指標					
5	目標値	(平成26年度)			単位	
	実績値					
	達成度					
	指標					

【3 事業実績】

21年度に実施した内容	<p>●メール配信対象 以下に該当する地域づくり活動を行う個人または2人以上で組織している団体をメール配信対象としている。 ①自主的かつ自立的な活動 ②主に町内を拠点とした活動 ③政治活動、宗教活動または営利を目的としない活動 ※平成21年度中の登録団体数は40団体(コミュニティクラブ、消防団、文化協会所属団体、体育協会所属団体等)</p> <p>●メール配信の状況 登録団体に対し8回(4月/2回、5月/1回、9月/1回、10月/1回、11月/1回、1月/1回、2月/1回)、計13件の情報提供や募集通知等をE-mailで配信した。</p> <p>【情報提供】 以下の項目について、情報提供を行った。 ①イメージキャラクター②健康フェスティバル③地域活動等助成金④認知症サポーター養成講座⑤横瀬町学校支援講演会⑥横小キャンドルナイト⑦体力向上倶楽部⑧プレミアム商品券⑨税金⑩バラとガーデニング⑪環境保全促進事業補助金⑫夢チャレンジ事業補助金</p> <p>【募集通知】 非常勤職員募集の通知を配信した。</p>
-------------	---

平成21年度実施事業評価シート

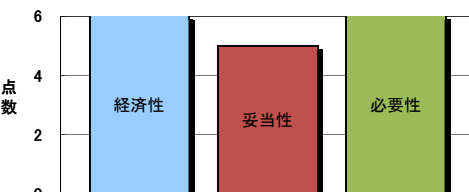
【4 担当者評価】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点:適切	6/6点	予算措置なし。 情報提供はメールの一斉送信なので、非常に効率的である。
	効率的な手段・方法であるか	2点:適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点:適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点:適切	5/6点	第5次総合振興計画における町民交流の推進に基づき実施できた。 年12回の定期配信を目指したが、配信間隔が不定期配信になってしまった。
	長期的な効果が期待できるか	2点:適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	1点:概ね適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点:適切	6/6点	登録団体数は41団体であり、第5次総合振興計画における目標指標は78団体である。転入者等の未活動者に対して活動の参加促進を図る為、今後さらに登録団体数の増加を目指す。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点:適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点:適切		
総合点数		17/18点		

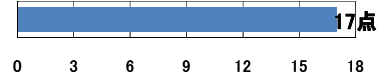
【5 総合評価】 評価者: 課長 加藤 芳男

総合評価	未登録団体の加入をさらに促進し、また、登録団体に対し情報提供数を増やすほか、きずなねっと制度をさらにアピールし、町民との協働によるまちづくりを推進する必要がある。
今後の方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> その他(一部改善)

評価のグラフ



総合点数



【6 最終評価】 評価者: 行政評価委員会

最終評価	登録団体数と情報配信件数の増加に努めること。
今後の方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> その他(一部改善)

平成21年度実施事業評価シート

事業コード: 132070-02

出産祝い金支給事業				評価	主要	プロ	新・継	担当課所
				○	○		継続	いきいき町民課
基本構想	3 保健・福祉・医療	主な施策	4 子育て支援の推進					
その他の関連する施策								
何のために(目的・課題)	出産を奨励し、子どもの健やかな成長を願い、子育て家庭を支援するため。							
誰・何を(対象)	出生した子のいる家庭 対象数(受益者または団体数) 70 (単位:人)							
どんなことを・どのように(内容)	出生した子の父母を対象に、出産祝い金を1子につき30,000円支給する。							

【1 事業費等】 (単位:千円)

区分	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
事業費			1,560	1,950	2,220	2,310
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	受益者負担					
	その他					
	一般財源			1,560	1,950	2,220

【2 目標指標】

1	指標	児童館年間利用者数				
	目標値	(平成26年度) 15,900 単位 人				
	実績値	13,103	15,152	14,392		
	達成度	82.4%	95.3%	90.5%		
2	指標	子ども医療費受給対象者数				
	目標値	(平成26年度) 1,230 単位 人				
	実績値	1,021	1,025	1,007		
	達成度	83.0%	83.3%	81.9%		
3	指標					
	目標値	(平成26年度) 単位				
	実績値					
	達成度					
4	指標					
	目標値	(平成26年度) 単位				
	実績値					
	達成度					
5	指標					
	目標値	(平成26年度) 単位				
	実績値					
	達成度					

【3 事業実績】

21年度に実施した内容	<p>●実施内容 出生した1子につき、出産祝い金30,000円を52人に支給した。 支給を行った52人のほか、支給を却下した件数は5件であった。(却下の理由は、町税の滞納のため)</p> <p>【出産褒賞金支給状況】 秩父市：名称 褒賞金 1子につき5万円(ただし、H22.12.31までに産まれた子までで終了) 皆野町：名称 褒賞金 第1子 3万円 第2子 5万円 第3子以上 10万円 長瀨町：名称 子育て支援金 1子につき2万円(平成21年4月1日から実施) 小鹿野町：名称 褒賞金 第1子 1万円 第2子 3万円 第3子以上 5万円</p>
-------------	--

平成21年度実施事業評価シート

【4 担当者評価】

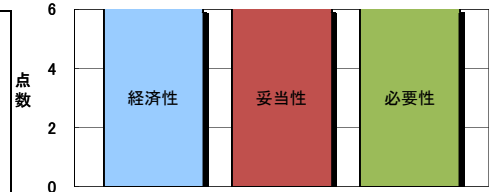
評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点:適切	6/6点	町税事業との連携調整により、適正な給付が実施できている。
	効率的な手段・方法であるか	2点:適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点:適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点:適切	6/6点	子育て支援体制および少子化対策を推進するために妥当な事業である。
	長期的な効果が期待できるか	2点:適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点:適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点:適切	6/6点	子育て世帯の経済的負担の軽減と定住促進を図るため、必要不可欠な事業である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点:適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点:適切		
総合点数		18/18点		

【5 総合評価】

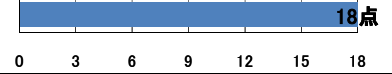
評価者: 課長 大野 雅 弘

総合評価	平成21年度からの新規事業なのでしばらくの間は現状維持。子育て支援事業の一つである。
今後の方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> その他(現状維持)

評価のグラフ



総合点数



【6 最終評価】

評価者: 行政評価委員会

最終評価	事業の効果や住民ニーズを常に意識しながら実施すること。
今後の方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> その他(現状維持)

平成21年度実施事業評価シート

事業コード: 130440-01

緊急通報システム運用管理事業				評価	主要	プロ	新・継	担当課所
				○	○		継続	健康づくり課
基本構想	3 保健・福祉・医療	主な施策	2 高齢者福祉の充実					
その他の関連する施策		①地域福祉の推進						
何のために(目的・課題)	日常生活上常時注意を要する方の緊急事態における不安を解消し、高齢者等の福祉の向上を図る。							
誰・何を(対象)	65歳以上のひとり暮らしの高齢者など日常生活上常時注意を要する方 対象数(受益者または団体数) (単位:)							
どんなことを・どのように(内容)	65歳以上のひとり暮らしの高齢者又は重度身体障害者、慢性的な疾患により日常生活上常時注意を要する方へ緊急通報システムの機器を貸し出すことで緊急事態における不安を解消する。							

【1 事業費等】 (単位:千円)

区分	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
事業費	735	673	723	1,331	1,142	1,142
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	受益者負担					
	その他					
	一般財源	735	673	723	1,331	1,142

【2 目標指標】

1	指標	緊急通報システムの設置世帯数(累計)					
	目標値	(平成26年度)			72	単位	戸
	実績値	50	54	57			
	達成度	69.4%	75.0%	79.2%			
2	指標						
	目標値	(平成26年度)				単位	
	実績値						
	達成度						
3	指標						
	目標値	(平成26年度)				単位	
	実績値						
	達成度						
4	指標						
	目標値	(平成26年度)			対象範囲や有料貸出などを検討し、新たなニーズに対応した制度とすること。		単位
	実績値			その他			
	達成度						
5	指標						
	目標値	(平成26年度)				単位	
	実績値						
	達成度						

【3 事業実績】

21年度に実施した内容	<p>●実施内容 本人、家族から直接申込み又は民生委員を通じて設置の相談があり、対象者として該当する者へ設置した。 (申請には民生委員の署名と捺印が必要)</p> <p>緊急通報システムは、秩父郡市内の市町すべてが同一のシステムを使用し、秩父広域市町村圏組合(消防)のシステムと連携して緊急の場合に連絡ができるように整備するものである。設置者の要件についても、ほぼ同一となっている。(秩父市で、有料にて設置しているケースあり。) 横瀬町の平成21年度における新規設置申請は12件で、現在57台の設置がある。(保管台数は2台)</p> <p>【通報受信件数 46件/年】 ・救急通報：4月(1件) 10月(1件) 11月(4件) 1月(1件) 3月(1件) ・間違通報：4月(1件) 5月(1件) 6月(1件) 11月(1件) ・試験通報：6月(1件) 8月(1件) 9月(3件) 10月(3件) 2月(24件) 3月(2件)</p>
-------------	--

平成21年度実施事業評価シート

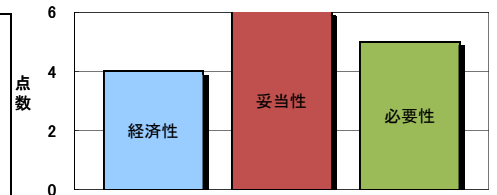
【4 担当者評価】

評価基準			担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	1点: 概ね適切	4/6点	消防本部と連携しているため簡単に他の業者との比較ができないため。
	効率的な手段・方法であるか	1点: 概ね適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点: 適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点: 適切	6/6点	高齢者保健福祉計画において、高齢者の安全、安心の確保としての重要な取組となっている。
	長期的な効果が期待できるか	2点: 適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点: 適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	1点: 概ね適切	5/6点	ひとり暮らしの高齢者が増え、本人だけでなく近隣住民や親族などが緊急事態における不安解消になる。しかし、日中独居等の新しいニーズも出ており、対象者の検討が必要。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点: 適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点: 適切		
総合点数		15/18点		

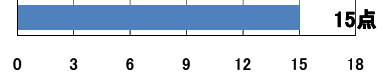
【5 総合評価】 評価者: 課長 田端啓二

総合評価	ひとり暮らしの高齢者が増えている現状で、必要不可欠な事業である。新しいニーズも出てきており、対象者の見直しを行う必要がある。
今後の方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> その他(一部改善)

評価のグラフ



総合点数



【6 最終評価】 評価者: 行政評価委員会

最終評価	対象範囲や有料貸出などを検討し、新たなニーズに対応した制度とすること。
今後の方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> その他(一部改善)

平成21年度実施事業評価シート

事業コード: 132423-01

児童館事業		評価	主要	プロ	新・継	担当課所
		○	○		継続	児童館
基本構想	3 保健・福祉・医療	主な施策		4 子育て支援の推進		
その他の関連する施策		①幼児教育の充実 ②青少年の健全育成				
何のために(目的・課題)	児童に健全な遊びを与えてその健康を増進し、情緒を豊かにするとともに、安心して安全な居場所を提供するため。					
誰・何を(対象)	幼児(保護者同伴)から18歳までの児童 対象数(受益者または団体数) (単位:人)					
どんなことを・どのように(内容)	利用時間は、幼児(保護者同伴)は午前9時から正午(月～金曜)午後1時から午後3時(火・木・金曜日のみ) 小学生は午後1時から午後5時(月～金曜日)。季節の行事や親子ふれあい遊び、紙芝居、うた、体操や工作教室、小学生スポーツ教室、おはなし会などの事業を実施する。					

【1 事業費等】 (単位:千円)

区分	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
事業費	2,363	2,125	2,917	3,589	1,600	1,600
財源内訳	国県支出金			1,000		
	地方債					
	受益者負担			37		
	その他					
	一般財源	2,363	2,125	2,917	2,552	1,600

【2 目標指標】

1	指標	児童館年間利用者数				
	目標値	(平成26年度) 15,900				
	実績値	13,103	15,152	14,392		
	達成度	82.4%	95.3%	90.5%		
2	指標	子ども医療費受給対象者数				
	目標値	(平成26年度) 1,230				
	実績値	1,021	1,025	1,007		
	達成度	83.0%	83.3%	81.9%		
3	指標					
	目標値	(平成26年度)				
	実績値					
	達成度					
4	指標					
	目標値	(平成26年度)				
	実績値					
	達成度					
5	指標					
	目標値	(平成26年度)				
	実績値					
	達成度					

【3 事業実績】

21年度に実施した内容	<p>●実施内容</p> <p>【幼児・小学生対象事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節の行事(クリスマス会、餅つき、運動会などを実施) ・工作教室(父の日のプレゼント作成、マフラー作り、コースター作りなどを実施) ・スポーツ教室(ドッチボール大会、ニュースポーツ教室、縄跳び大会などを実施) ・親子のふれあいあそび「親子であそぼ」(シャボン玉遊び、リズム遊びなどを実施) ・紙芝居、体操は毎日実施し、歌の指導は週1回実施 <p>【誰でも参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本物の劇団による「よいこの演劇鑑賞会」 ・申込みにより、県内で3館のみ実施した。7月28日に遊育研究所素劇舎による「歌うプレーメン音楽会」をゆうぎ室で鑑賞した。(幼児から高校生、保護者まで、136人が鑑賞) ・平成21年7月22日に「おまつりごっこ」、平成22年3月24日「にじいろコンサート」を実施した。 <p>【子育て中のママが対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ママのためのお誕生会、おしゃべりサロン(H21～)、リフレッシュ体操(H21～)、子育て講座(H21～)等 <p>※年間開所日数 238日 年間延べ利用者数 14,392人</p>
-------------	--

平成21年度実施事業評価シート

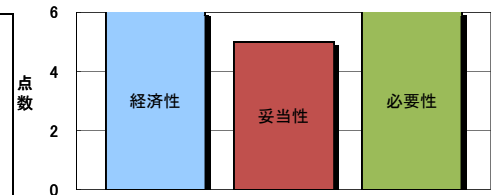
【4 担当者評価】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点:適切	6/6点	今年度から材料費など実費分の徴収を始めるとともに地域子育て支援拠点事業と共催で事業を実施し、効率的な運営ができた。
	効率的な手段・方法であるか	2点:適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点:適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点:適切	5/6点	子育て中の親子や小学生を支援する事業を計画的に実施できた。今後は5年後、10年後を見据えた事業の展開を図る必要がある。
	長期的な効果が期待できるか	2点:適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	1点:概ね適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点:適切	6/6点	幼児の親子や児童が安心して集まり、交流することもできる居場所づくりや事業の実施は今後ますます必要とされていく事業である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点:適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点:適切		
総合点数		17/18点		

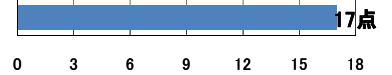
【5 総合評価】 評価者: 館長 横田博夫

総合評価	少ない予算で多くの事業を行っており子育て支援の拠点として重要である。今後も、引き続き施設規模等に合わせた事業推進をする必要がある。
今後の方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> その他(現状維持)

評価のグラフ



総合点数



【6 最終評価】 評価者: 行政評価委員会

最終評価	利用ニーズにあわせたメニューの検討など事業内容等の充実に努めること。
今後の方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> その他(一部改善)

平成21年度実施事業評価シート

事業コード: 141520-01

有価物回収事業		評価	主要	プロ	新・継	担当課所
		○	○		継続	振興課
基本構想	1 生活環境	主な施策		1 地域環境づくりの推進		
その他の関連する施策		①地球温暖化対策の推進 ②青少年の健全育成				
何のために(目的・課題)	ごみの減量化及び資源の有効利用を図り、省資源、省エネルギー対策を推進するため。					
誰・何を(対象)	地域住民団体、子ども育成会、自治会等 対象数(受益者または団体数) 10 (単位: 団体)					
どんなことを・どのように(内容)	地域住民団体が行う有価物の集団回収に対して、有価物の回収量に応じ報償金(5円/kg)を実施団体等に支給する。(平成21年7月より回収業者への助成金は廃止)					

【1 事業費等】 (単位: 千円)

区分	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
事業費	1,685	1,737	1,372	1,372	1,372	1,372
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	受益者負担					
	その他					
	一般財源	1,685	1,737	1,372	1,372	1,372

【2 目標指標】

1	指標	ごみの排出量(1人1日あたり)				
	目標値	(平成26年度) 705 単位 g				
	実績値	741	729	711		
	達成度	105.1%	103.4%	100.9%		
2	指標					
	目標値	(平成26年度) 単位				
	実績値					
	達成度					
3	指標					
	目標値	(平成26年度) 単位				
	実績値					
	達成度					
4	指標					
	目標値	(平成26年度) 単位				
	実績値					
	達成度					
5	指標					
	目標値	(平成26年度) 単位				
	実績値					
	達成度					

【3 事業実績】

21年度に実施した内容	<p>●実施内容 第1、第2、第3四半期に、延べ17団体が有価物回収事業を実施した。全団体で、総計193,557kgの有価物を回収した。(平成20年度は延べ16団体が回収を行い、総回収量は199,991kgであった。)</p> <p>【各団体ごとの回収状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根古屋子供会育成会 第1、第3四半期に実施(回収量 30,976kg) ・ことりが丘子供会 第1、第3四半期に実施(回収量 7,370kg) ・二葉子供会育成会 第1、第3四半期に実施(回収量 34,053kg) ・宇根子ども会 第1、第3四半期に実施(回収量 24,443kg) ・仲よし子供会 第1、第3四半期に実施(回収量 27,755kg) ・川東山びこ子供会育成会 第1、第3四半期に実施(回収量 31,600kg) ・川西子供会 第1、第3四半期に実施(回収量 24,082kg) ・芦ヶ久保子供会育成会 第1四半期に実施(回収量 12,786kg) ・県営横瀬五番団地 第2、第3四半期に実施(回収量 492kg) <p>【回収物の内訳】</p> <p>新聞紙(117,780kg) 雑誌(37,500kg) 段ボール(34,230kg) 布類(600kg) 1.8リットルビン(1,080kg) ビールビン(945kg) ビール箱(66kg) アルミ缶(1,342kg) その他(14kg)</p>
-------------	--

平成21年度実施事業評価シート

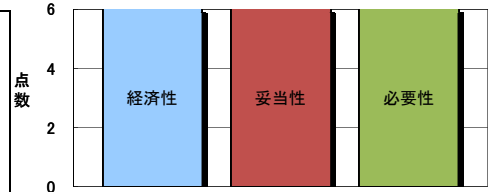
【4 担当者評価】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点:適切	6/6点	5円/kgという報償金の多寡については、町民の意欲と事業継続のバランスを考慮すると妥当と考える。
	効率的な手段・方法であるか	2点:適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点:適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点:適切	6/6点	資源リサイクルに対する意識を地域の低年齢層から身に付けることにより、地域活性化のほか長期的効果が期待できる。
	長期的な効果が期待できるか	2点:適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点:適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点:適切	6/6点	各地区子ども会が積極的に参加し、子どもたちの資源リサイクルに対する意識涵養の機会となっている。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点:適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点:適切		
総合点数		18/18点		

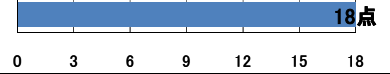
【5 総合評価】 評価者: 課長 木崎 泰明

総合評価	秩父広域のごみ処理の負担軽減や資源の有効利用(3R)を考えると住民の分別意識高揚を図るためにも継続することが必要である。
今後の方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> その他(現状維持)

評価のグラフ



総合点数



【6 最終評価】 評価者: 行政評価委員会

最終評価	事業の効果や住民ニーズを常に意識しながら実施すること。
今後の方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> その他(現状維持)

平成21年度実施事業評価シート

事業コード: 173310-01

ウォーターパークシラヤマ維持管理事業				評価	主要	プロ	新・継	担当課所
				○	○		継続	建設課
基本構想	2 生活基盤	主な施策	3 居住環境の整備					
その他の関連する施策								
何のために(目的・課題)	だれもが、いつでも安心・安全に利用できる身近な公園とするため。							
誰・何を(対象)	都市公園(近隣公園) 対象数(受益者または団体数) 1 (単位:箇所)							
どんなことを・どのように(内容)	一部管理委託等維持管理全般を行う。							

【1 事業費等】 (単位:千円)

区分	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
事業費	1,980	1,674	1,894	1,931	1,931	1,931
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	受益者負担					
	その他					
	一般財源	1,980	1,674	1,894	1,931	1,931

【2 目標指標】

1	指標	ウォーターパークシラヤマの年間利用者数				
	目標値	(平成26年度) 5,400			単位	人
	実績値	-	1,059	2,410		
	達成度		19.6%	44.6%		
2	指標					
	目標値	(平成26年度)			単位	
	実績値					
	達成度					
3	指標					
	目標値	(平成26年度)			単位	
	実績値					
	達成度					
4	指標					
	目標値	(平成26年度)			単位	
	実績値					
	達成度					
5	指標					
	目標値	(平成26年度)			単位	
	実績値					
	達成度					

【3 事業実績】

21年度に実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ●実施場所 大字横瀬字六番・寺坂地内 ●実施内容 ウォーターパーク・シラヤマの適正な維持管理を実施した。 <p>【維持管理の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①公園管理委託 629,279円 シルバー人材センターに、午前中9時から11時まで草刈、ゴミ拾い、トイレ清掃など管理作業を委託した。(土曜日を除く毎日 3h/日) ②光熱水費 248,430円(トイレ電気代・水道代・下水料金) ③公園用地賃借料 637,536円(4筆 1,068㎡) ④修繕料 46,830円(トイレ給水管保温工修繕・トイレ小便器修繕・窓ガラス修繕) ⑤下水道接続工事 279,300円 ほか
-------------	--

平成21年度実施事業評価シート

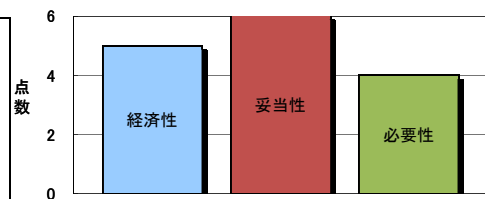
【4 担当者評価】

評価基準			担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点:適切	5/6点	事業費は必要最小限にとどめられており、妥当であると思われるが、公園設置年数の経過に伴う設備等の老朽化も見られ、今後は、維持管理等について検討する時期にきていると思われる。
	効率的な手段・方法であるか	1点:概ね適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点:適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点:適切	6/6点	長期間実施されている事業であり、その間、常に細心の注意を払いながら維持管理に努めているため、大きな事故等も発生しておらず、公園利用者の安全が確保されている。
	長期的な効果が期待できるか	2点:適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点:適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	1点:概ね適切	4/6点	公園開設後、年数が経過しており、住民ニーズを適切に反映しているとは言い難いが、子育て世代の利用も多く、住民の憩いの場としての利用価値は高く、今後も継続実施すべき事業である
	目標達成され必要性が薄れていないか	1点:概ね適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点:適切		
総合点数		15/18点		

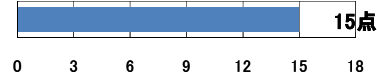
【5 総合評価】 評価者: 課長 柳 健一

総合評価	施設の老朽化や公園環境の問題等により、利用率が高いとは言えない現状だが、平成22年度に県の水辺再生事業により、横瀬川の岸辺等については親しみやすい環境となるため、子育て支援等を推進していく上で必要な施設であることから、この機に乗じた公園本体の改善(老朽遊具の入れ替え、芝生の張り替え、大木化した立木の伐採等)をしていきたい。
今後の方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> その他(一部改善)

評価のグラフ



総合点数



【6 最終評価】 評価者: 行政評価委員会

最終評価	利用ニーズに合わせた安心・安全な施設の充実に努めること。
------	------------------------------

平成21年度実施事業評価シート

事業コード: 401030-03

下水道啓発事業				評価	主要	プロ	新・継	担当課所
				○	○		継続	上下水道課
基本構想	2 生活基盤	主な施策	5 下水道の整備					
その他の関連する施策								
何のために(目的・課題)	下水道を正しく理解し、水環境保護に対する意識を醸成するため。							
誰・何を(対象)	小学生及びその親 対象数(受益者または団体数) (単位:)							
どんなことを・どのように(内容)	親子下水道教室や小学生を対象に出前講座を実施し、ビデオや実験を通して、水質浄化の仕組みを教える。							

【1 事業費等】 (単位:千円)

区分	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
事業費	127	278	92	117	137	137
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	受益者負担					
	その他					
	一般財源	127	278	92	117	137

【2 目標指標】

1	指標	水洗化率				
	目標値	(平成26年度) 90.6				
	実績値	78.1	78.6	79.0		
	達成度	86.2%	86.8%	87.2%		
2	指標	出前講座、下水道教室の参加者数				
	目標値	(平成26年度) 150				
	実績値	49	123	113		
	達成度	32.7%	82.0%	75.3%		
3	指標					
	目標値	(平成26年度)				
	実績値					
	達成度					
4	指標					
	目標値	(平成26年度)				
	実績値					
	達成度					
5	指標					
	目標値	(平成26年度)				
	実績値					
	達成度					

【3 事業実績】

21年度に実施した内容	<p>●実施内容 ビデオや実験を通して、水質浄化の仕組みを教えるなど水環境保全の学習を実施した。また、水質管理センターでは、学習後、各施設の見学会も行った。</p> <p>●学習の流れ ①ビデオ学習(水の循環→下水道の歴史→下水道の効果と役割→よごれをきれいにするしくみ など) ②実験(溶解実験→ろか実験装置→汚水がきれいになるまでの実験→微生物の役割の確認 など) ③(水質管理センターのみ)各施設の見学</p> <p>●実施日等 横瀬小学校(平成21年6月23日) 小学校4年生対象 横瀬町水質管理センター(平成21年8月9日) 小学校3年生以上と保護者</p>
-------------	--

平成21年度実施事業評価シート

【4 担当者評価】

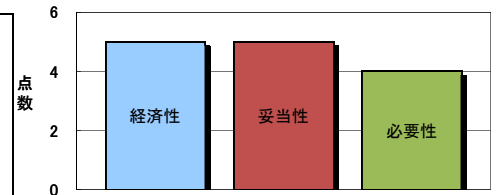
評価基準			担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点:適切	5/6点	環境部門との連携が図れていなかった。
	効率的な手段・方法であるか	2点:適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	1点:概ね適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点:適切	5/6点	夏休みの自由研究にも対応した内容で実施したが児童の参加が伸びなかった。
	長期的な効果が期待できるか	2点:適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	1点:概ね適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	1点:概ね適切	4/6点	下水道普及促進のために必要不可欠ではあるが下水道教室の認知度が低く参加率が低いため広報等検討が必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	1点:概ね適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点:適切		
総合点数		14/18点		

【5 総合評価】

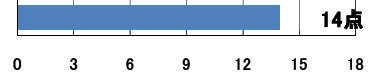
評価者: 課長 町田 多

総合評価	現在、下水と浄化槽の両輪で水質の浄化に向けた整備を進める中で、ハード面の整備と並行して、町民一人ひとりの水環境への意識改革を図ることが極めて重要になってくる。
今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他()

評価のグラフ



総合点数



【6 最終評価】

評価者: 行政評価委員会

最終評価	環境部門などの関係課所と連携した事業展開を検討すること。
今後の方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> その他(一部改善)

平成21年度実施事業評価シート

事業コード：111150-01

議会だより発行事業				評価	主要	プロ	新・継	担当課所
				○			継続	議会事務局
基本構想	6 協働・交流	主な施策	3 町民参画の推進					
その他の関連する施策								
何のために(目的・課題)	議会だよりを毎戸配布し、議会の活動内容を広報することにより、町政への関心を高める。							
誰・何を(対象)	全住民 対象数(受益者または団体数) (単位:)							
どんなことを・どのように(内容)	横瀬町議会定例会ごとに議会だより編集委員会委員が、定例会の内容等の記事を書き、業務委託先が割り付け・レイアウト等を行い発行している。							

【1 事業費等】 (単位:千円)

区分	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
事業費	955	922	922	936	936	936
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	受益者負担					
	その他					
	一般財源	955	922	922	936	936

【2 目標指標】

指標	町ホームページの年間アクセス数						
1	目標値	(平成26年度)			61,200	単位	件
	実績値	40,518	50,998	49,889			
	達成度	66.2%	83.3%	81.5%			
	指標						
2	目標値	(平成26年度)				単位	
	実績値						
	達成度						
	指標						
3	目標値	(平成26年度)				単位	
	実績値						
	達成度						
	指標						
4	目標値	(平成26年度)				単位	
	実績値						
	達成度						
	指標						
5	目標値	(平成26年度)				単位	
	実績値						
	達成度						
	指標						

【3 事業実績】

21年度に実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ●実施内容 6人の議員有志による「議員だより編集委員会」が、各議会定例会が開催される日の前後の日程で編集委員会を開催し、議会だよりに係る記事(議会の活動内容等)を作成する。(「議会だより」作成については、印刷会社に委託) ●発行部数 約3,400部 ●発行回数 年4回の議会定例会後発行 (発行日：平成21年4月15日(第82号)、7月15日(第83号)、10月15日(第84号)、平成22年1月15日(第85号)) <p>※「議会だより」については、町内に毎戸配布</p>
-------------	---

平成21年度実施事業評価シート

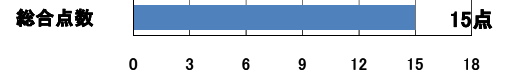
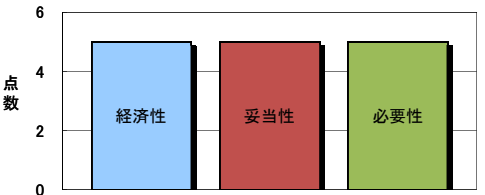
【4 担当者評価】

評価基準			担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	1点:概ね適切	5/6点	現在の方法では、これ以上の削減は難しいと思われるが、今後も検討する必要がある。
	効率的な手段・方法であるか	2点:適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点:適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点:適切	5/6点	広報の定期発行は、議会活動を多くの方に知らせるという意味で重要だが、今後も長期的効果がある手法を模索していく必要がある。
	長期的な効果が期待できるか	1点:概ね適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点:適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	1点:概ね適切	5/6点	議会に対し町民が関心を持ってもらうために必要であるが、掲載内容をより分かり易くし、読者の興味をひく工夫が必要と考える。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点:適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点:適切		
総合点数		15/18点		

【5 総合評価】 評価者: 局長 富田 等

総合評価	議決機関である議会が、自ら編集し、議会の目線で、公平公正に町民へ定例会・臨時会の内容、活動等を周知することにより、議会や町政への関心度・意識を高めている。
今後の方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> その他(現状維持)

評価のグラフ



【6 最終評価】 評価者: 行政評価委員会

最終評価	事業の効果や住民ニーズを常に意識しながら実施すること。
------	-----------------------------

平成21年度実施事業評価シート

事業コード：193180-

さわやか相談員配置事業				評価	主要	プロ	新・継	担当課所
				○	○		継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化	主な施策	3 学校教育の充実					
その他の関連する施策								
何のために(目的・課題)	子どもの「心の悩み」に対し、親身になって相談に応じるさわやか相談員を配置することにより、不登校やいじめをなくす。							
誰・何を(対象)	中学校生徒、教職員 対象数(受益者または団体数) 309 (単位:人)							
どんなことを・どのように(内容)	「さわやか相談員」を町の非常勤職員として採用する(1日5時間勤務)。生徒、保護者等のいじめや不登校等の相談に応じる。							

【1 事業費等】 (単位:千円)

区分	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
事業費	2,106	2,045	1,640	1,765	1,766	1,766
財源内訳						
国県支出金	1,267	1,267	1,093	1,149	1,156	1,156
地方債						
受益者負担						
その他						
一般財源	839	778	547	616	610	610

【2 目標指標】

1	指標	教育に関する3つの達成目標「規律ある態度」目標達成率の平均値(横小)				
	目標値	(平成26年度) 90.0 単位 %				
	実績値	86.0	86.5	91.0		
	達成度	95.6%	96.1%	101.1%		
2	指標	教育に関する3つの達成目標「規律ある態度」目標達成率の平均値(横中)				
	目標値	(平成26年度) 83.0 単位 %				
	実績値	79.2	76.4	74.3		
	達成度	95.4%	92.1%	89.5%		
3	指標	教育に関する3つの達成目標「体力」総合評価A+B+C(横小)				
	目標値	(平成26年度) 80.0 単位 %				
	実績値		78.4	82.0		
	達成度		98.0%	102.5%		
4	指標	教育に関する3つの達成目標「体力」総合評価A+B+C(横中)				
	目標値	(平成26年度) 80.0 単位 %				
	実績値		74.2	75.5		
	達成度		92.8%	94.4%		
5	指標					
	目標値	(平成26年度) 単位 %				
	実績値					
	達成度					

【3 事業実績】

21年度に実施した内容	<p>●実施内容 いじめ、不登校などの問題行動の未然防止や解消を図るため、中学校さわやか相談室に「さわやか相談員」1名を配置した。(勤務時間は週5日、1日5時間) ※さわやか相談室：生徒が本音で悩みなどを語れる相談場所。また、生徒の心の拠り所としての場。</p> <p>【相談状況】 相談件数：1,461件(男246件・女1,215件) 相談内容：いじめ、不登校、友人関係など (不登校に関する保護者からの相談などもある。) ※学級担任・スクールカウンセラーや家庭と連携を図り、解消への手がかりとしている。また、小学校に赴いて相談活動を行い、中学校へ進学する児童の状況についても把握を行っている。</p>
-------------	--

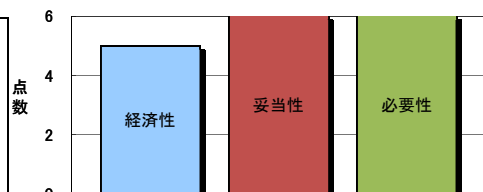
平成21年度実施事業評価シート
【4 担当者評価】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点:適切	5/6点 ・県補助(市町村総合助成金2/3)活用。助成対象範囲で相談員を配置。
	効率的な手段・方法であるか	2点:適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	1点:概ね適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点:適切	6/6点 年間延べ1450の相談を受け、助言や指導を行った。保護者の相談も増加している。
	長期的な効果が期待できるか	2点:適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点:適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点:適切	6/6点 さわやか相談員を介して、学級担任や家庭と連携が図れたり、小学校の児童の状況も把握できる。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点:適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点:適切	
総合点数		17/18点	

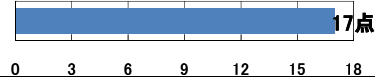
【5 総合評価】 評価者: 教育次長 村 越 和 昭

総合評価	不登校・いじめ問題等の相談は増加傾向にある。また、教師の相談も増えている。教師や生徒の悩みは、相談することにより解決ができる場合が多いので、いつでも相談できる状況は、確保したい。
今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他(

評価のグラフ



総合点数



【6 最終評価】 評価者: 行政評価委員会

今後の方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> その他(一部改善)
最終評価	一人でも多く相談に応じられる体制づくりに努めること。

平成21年度実施事業評価シート

事業コード：194340-01

公民館主催事業				評価	主要	プロ	新・継	担当課所
				○	○		継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化	主な施策	1 社会教育の充実					
その他の関連する施策 ①幼児教育の充実 ②青少年の健全育成 ③文化・芸術活動の充実								
何のために(目的・課題)	住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため。							
誰・何を(対象)	全住民 対象数(受益者または団体数) (単位:)							
どんなことを・どのように(内容)	年間を通して、公民館で行う講座・教室、外部施設の見学等を、町民の年齢層、ニーズに合わせて企画、実施する。							

【1 事業費等】 (単位:千円)

区分	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
事業費	592	499	803	1,406	1,476	1,549
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	受益者負担	41	37	288	569	627
	その他					
一般財源	551	462	515	837	879	922

【2 目標指標】

1	指標	生涯学習地区推進委員会事業参加者数					
	目標値	(平成26年度)			1,000	単位	人
	実績値		740				
	達成度		74.0%				
2	指標	公民館年間利用者数					
	目標値	(平成26年度)			28,000	単位	人
	実績値	24,152	26,573	26,313			
	達成度	86.3%	94.9%	94.0%			
3	指標	リトルラビット事業の参加者数					
	目標値	(平成26年度)			17	単位	組
	実績値	18	20	14			
	達成度	105.9%	117.7%	82.4%			
4	指標	文化協会加盟団体数					
	目標値	(平成26年度)			38	単位	団体
	実績値	38	36	34			
	達成度	100.0%	94.7%	89.5%			
5	指標						
	目標値	(平成26年度)				単位	
	実績値						
	達成度						

【3 事業実績】

21年度に実施した内容	<p>●実施事業</p> <p>①育児・親子ふれあい(リトルラビット) 平成21年4月23日から平成22年3月4日の期間に20回開催し、多くの母子が参加した。(当初14組)</p> <p>②もの作り教室 布ぞうり作り(7月18日実施・17人参加)、ミニ門松作り(12月27日実施・15人参加)、そば打ち(12月19日実施・14人参加)、トールペイント(5回/年実施・6人参加)教室を開催した。</p> <p>③一般教養講座 エクセル講座(4回/年実施・20人参加)、美術館めぐり(11月23日実施・26人参加)、歴史講座(4回/年・6人参加)を実施した。</p> <p>④健康維持・増進 インナーシェイプ(8月4日～11月17日まで全12回・20人参加)を実施した。</p> <p>⑤子ども体験 ふんすい作り(7月29日実施・8人参加)、スライム作り(8月5日実施・25人参加)、まがたま作り(8月12日実施・22人参加)、ろうそく作り(8月26日実施・29人参加)、春休み「よこぜまち探検隊」(平成22年3月30日、旧芦ヶ久保小学校などで実施・18人参加)を実施した。</p> <p>※14の主催事業を実施し、254人、延べ917人の参加があった。</p>
-------------	---

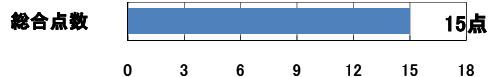
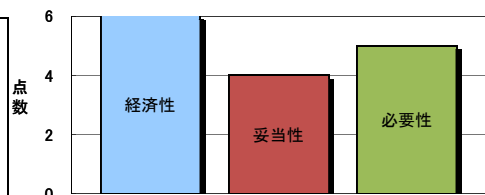
平成21年度実施事業評価シート
 【4 担当者評価】

評価基準			担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点:適切	6/6点	主催事業協力連携会議により、他担当との連携調整は図れている。事業実施にあたっては、今後も常に参加者負担金の適正算定など経費的な見直しや、効率的実施に努める。
	効率的な手段・方法であるか	2点:適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点:適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	1点:概ね適切	4/6点	地域力や人の繋がりを育むための方法として公民館事業は有効である。諸計画との整合性や事業展開については、一部適切な対応が取れているものの、担当職員1人で対応するには限界がある。
	長期的な効果が期待できるか	2点:適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	1点:概ね適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	1点:概ね適切	5/6点	住民の豊かな生活に資するためにも公民館事業の充実、継続は必要。しかしながら、住民ニーズの把握が適切になされているかは疑問がのこり、今後の課題となっている。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点:適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点:適切		
総合点数		15/18点		

【5 総合評価】 評価者: 教育次長 村 越 和 昭

総合評価	公民館事業を展開することは、町民が心豊かな充実した生活を送るため、とても重要な事業である。町民ニーズの把握と共に経費の削減に努め事業展開する必要がある。
今後の方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> その他(一部改善)

評価のグラフ



【6 最終評価】 評価者: 行政評価委員会

最終評価	住民ニーズにあった事業内容等を検討すること。
------	------------------------